



2019年10月8日
東日本旅客鉄道株式会社

接客制服のリニューアルについて

JR東日本では、グレーを基調とした接客制服を、2002年の導入以来17年にわたって着用してきました。

2018年7月にグループ経営ビジョン「変革2027」を策定して以降、すべての人の「心豊かな生活」の実現を目指し始動した社員が、新たな気持ちでチャレンジするシンボルとして、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を機に、2020年5月より制服を一新します。

1 コンセプト

お客さまに「安心」「信頼」を感じていただくとともに、社員がより快適に着用でき、誇りを持つ制服、としました。

2 主な特徴

- ① お客さまに「安心」「信頼」を感じていただけるよう、「正統」と「品格」を表すダークネイビーを基調に、アクセントとして上衣の襟にグレーのラインを採用しました。

- ・男女ともに同色・同素材の半袖・長袖シャツとネクタイを着用（リボンタイおよびスカートの廃止）
- ・ネクタイは、3種類の中から選択し着用
- ・制帽は、男女とも「官帽型」と「チロリアン（ハイバック）型」から選択

- ② お客さまからも職制が分かるよう、上衣の袖のライン（駅長・区所長は2本、その他は1本）および制帽（5種類）で職制を区分しました。
- ③ お客さまとの第一線でサービスを提供する社員が、一体となってサービス品質向上に取り組めるよう、駅社員、車掌（新幹線含む）、運転士が全て同じ制服を着用します。
- ④ 資源環境の取組みの一環として、環境に配慮した生地を使用しました。
- ⑤ 社員が快適に着用できるよう、伸縮性の向上と軽量化を実現しました。

3 着用開始日

2020年5月1日

接客制服 全服種

<冬・夏>



<クールビズ>



<駅長用>

